




由良町
 こんにちは! 議会です

発行/由良町議会 発行責任者/議長 上野 諭 2013.11.1
 編集/議会広報編集委員会
 〒649-1111 和歌山県日高郡由良町里1220-1
 TEL.0738(65)1100 FAX.0738(65)0226 NO. 100

明日を担う 子どもたち





今の由良町をどう思っていますか？

「こんにちはは！議会です」発刊100号の記念特集として、平成6年（1994年）以来、19年ぶりの企画として「将来も、わが町由良町に住みたいですか？」「今後の由良町に何を望みますか？」「今の由良町をどう思いますか？」をテーマに、教育、文化、環境整備、福祉、産業などについて、将来を担う由良中学校の生徒12名の皆さんから意見や考えを聞く座談会を開きました。

出席した皆さん

- 1年生
寺下公貴君・吉本梨子さん
平林宗馬君・松下芽衣さん
- 2年生
濱出拓馬君・細川菜希さん
坂田祥太君・小山如月さん
- 3年生
洲崎大雅君・高臺明奈さん
濱上直也君・中谷美緒さん

環境整備に「コソコソ」

暗くて危ないので、通学路にもっと防犯灯を設置して欲しい

- ・JR紀伊由良駅前の歩道を広くして欲しい
- ・衣奈〜戸津井間のトンネルは、照明が少なく暗くて危険
- ・統合した畑小学校は、由良小学校までスクールバスが出ているので、中学生もバスに乗せて欲しい
- ・携帯電話の通信環境が悪い地区もあるので改善して欲しい
- ・空き家対策をすべきでは？

教育・文化に「コソコソ」

公民館や学校に、もっと本を増やして欲しい

- ・中学校には、エレベーターがあり便利ですが、給食の配膳作業を考えると小学校にもエレベーターは必要だと思う。
- ・中学校の運動場に照明施設を設置して欲しい



福祉に「コソコソ」

小さい子どもが遊べる公園を作って欲しい

- ・人口減少にもっと取り組んで欲しい
- ・町内の生活道路の段差を減らして、もっとバリアフリー化した方が良いでしょう
- ・現在、中学生まで医療費は無料だが、もう少し年齢条件を延長して欲しい

『今後の由良町』何を望みますか？

身体が不自由でも、笑って暮らせる町になって欲しい

- ・祭りをもっと盛んにしたい

中学生がら大人になつての提言



19年前、3中学校の「中学生に聞く」と題した座談会に参加された方々へ、『これからの由良町の展望や提言などについて』大人になった現時点で、再度お聞きしました。

高齢者が暮らしやすい町づくりを

加賀山 佳奈子

同封していただいていた19年前の座談会・特集記事を懐かしく拝見しました。現在、大阪に在住しており時々帰省します。由良町で生活している立場ではないですが、時々帰省する立場として故郷への思いを書かせて頂きます。

由良町の良い所は、豊かな自然だと感じます。子供が2人いますが、大阪でマンション暮らしをしていると、普段は交通量が多く、なかなかのびのびと遊ばせることができませんが、帰省した際、夏は海水浴もでき、自然の中のびのび遊ばせることができるのは本当に有難いです。いつまでもこの自然を残して貰いたいと思います。

地震津波対策として、避難場所の確保などの対応をされているようですが、今後もしっかりと検討を進めていただきたいと思います。

近年、全国でも由良町でも高齢化が進んで、お年寄りが増えているのが現状だと思います。私にも由良町に祖母が住んでいますが、買い物や日常生活などで不便を感じる事が多くなっている様です。

これからますます高齢化が進む中、高齢者が暮らしやすい町づくりをしていただければ幸いです。

子育て環境の整備を

有邊 紗知

大学進学と同時に実家を離れ、住んでいないので、現在の由良町についてよく分かりませんが、母校の白崎中学校も廃校になり、今度は白崎保育所もなくなると聞き寂しく思います。

私も含め、若い世代がどんどん由良町を離れているのだなと思います。学校や保育所の統合は、仕方の無いことかもしれませんが、しかし、子育てしやすい環境や制度を他市町村より充実したものにしようとして、若い世代が由良町から離れないようにする必要があると思います。

19年前と比較にならない住生活環境に

中川 洋一

当時の座談会の詳しい内容は、失念してしまいましたが、通学路の状況について要望したことを憶えています。

当時の通学路は、狭小で見通しも悪く急勾配の道路でしたが、中学校卒業の数年後に、2車線歩道のある道路が海沿いに整備されました。その後、漁港施設や下水道施設などの整備も進み、周辺の生活環境は大きく変化し、19年前とは比較にならないほど住み



高基明奈さん



吉本梨子さん



坂田祥太くん



洲崎大雅くん



寺下公貴くん



平林宗馬くん



濱上直也くん



松下芽衣さん



中谷美緒さん



濱出拓馬くん



細川菜希さん



小山如月さん



今後の議会活動で実践していきます

中学生皆さんの多くの意見をお聞きして、

「中学生のみなさんにとって、自分の町について考える良い機会になったと思います。

学校の勉強も大事ですが、今後、ふるさとについての取り組みを議会に意見してもらえれば嬉しいのです。貴重な意見を議会活動にも反映するべく、一つ一つ実践していくよう、我々議会も頑張ります」

と、上野議長が締めくくり座談会は終了しました。

『将来も、むが町 由良町に住みたい ですが?』

住みたい理由

- ・自然が豊かで、空気が綺麗だから
- ・祭りがあるから
- ・住み慣れた場所だから、都会より

由良に 住みたい

住みたくない理由

- ・交通が不便
- ・店が少ない
- ・働く場所が少なく住むには不便
- ・一度は、都会に住んでみたい

ばサービス業も儲かり、町も盛り上がる

・働ける場所をもっと増やして、人口減少に歯止めをかけて欲しい

・自然を守って欲しい

・高台に避難場所を作ってもらいたい

・誰もが参加できるイベントを増やして欲しい

・安心・安全な町にして欲しい

産業の活性化

商店街を復活させて欲しい

- ・大型スーパーが欲しい
- ・工場見学が出来る所があれば、町外からもっと人が来ると思う
- ・産業の活気がないので、農業では「ゆら早生みかん」をもっとアピールして欲しい
- ・漁業をもっと盛んにして欲しい

若い世代を支援する施策の充実を

野村 千佳

座談会「中学生に聞く」に参加したことは、覚えていますが。当時の座談会の記事を読むと、中学生ながら皆しっかりと意見を述べています。中学生ともなれば、日頃まわりの大人の話を聞き、自分たちの問題として町のことを考えるだけの知性は育っていると思います。

座談会へ代表として参加する生徒個人の意見を聞くだけでなく、事前に中学校全体で議論し、そこで出た意見をまとめて議会に提出することができれば、より効果が高まるのではないのでしょうか？

私も現在、2児の母となり、近隣町に住んでいますが、由良町の広報誌などに時々目を通し、今でも関心を寄せています。

これからの由良町を担うのは、子育て世代や子ども達です。高齢者福祉は言わずまでもありませんが、若い世代を支援する施策を更に充実させてください。

子育て世代中の母親の間では、日頃、生活に密着している女性が意見を言える場が欲しいという声があります。

様々な世代や立場の人の意見を聞く機会を作ってください。

その際には、町民側も要望や不満を言い放しにするのではなく、町の現状について知り、どうすれば実現可能な形にできるか？一緒に考える心構えで臨まなければと思います。

Iターン促進で人口増加を

石水 久美子

今後の由良町への展望は、他県からの移り住みを促進して人口の増加を希望します。由良町の魅力をもっとアピールし、他市町村には無いような、例えば、おむつ代の支給などのお得な施策をもっと増やして貰いたいです。

不安な点は、津波災害時など、地区によっては完全孤立してしまうかと思っています。その際、町は、どんな形で対応してくれるのか？もっと町民に伝えて頂きたいと思っています。そして今後、避難施設など、そういう防災対策などに予算を使って貰いたいとも思っています。大人になって見えるものも増え、今の由良町には本当に期待しています。今後より良い町づくり、頑張ってください。

19年前の自分から問われている感覚

数見 泰三

今回のアンケートに際し、19年前の自分から「町職員として、しっかりとやっているか？」と問われているような、そんな感覚を覚えました。

結婚もし、子どもにも生まれ、由良町に住み続けて来た事は、本当に幸せに思います。また、道路や漁港、下水道などのハード面での環境整備が進み、便利で快適な町づくりが行われてきた事を座談会に参加させて頂いた者として本当に嬉しく思います。

一方で、当時の私では想像もできなかった「少子高齢化」が、今一番身近な問題として実感しています。

現在、私の子ども達が通っている衣奈小小学校の全校児童数は50名という状況で、19年前と比較すると深刻な状況にあると思います。

私の2人の兄も例外ではありませんが、同世代である30歳〜40歳の多くの方が町外・県外へと移り住んでいる状況が、より少子化に拍車をかけていると思います。

由良の家計簿

一般会計・特別会計
総額 64 億円

平成24年度

決算認定

監査委員の審査意見

平成24年度の決算では、公共下水道事業を中心とする都市基盤整備及び漁業集落環境整備事業の生活環境整備、高潮対策のための衣奈漁業海岸整備、消防・防災対策事業などが実施されており、住みよい町づくりのために積極的に取り組まれている。
第4次由良町総合計画の基本構想に基づき作成された後期基本計画に沿って、住民ニーズに的確に対応した社会資本の整備、福祉施策の充実、地域の特徴を生かした活力ある町づくりを目指して、限られた財源の有効かつ適切な活用に留意しつつ、より高い行政水準を堅持するために、創意工夫を凝らし取り組まれることを期待する。



一般会計決算

歳入 39億 188万円

町税の徴収について

問 年々徴収率が上がっています。その対応は？
答 (税務課長) 町税の徴収率については、電話催告をさせて頂き、納税意識の低い滞納者の方には差し押さえや予告通知を送付する事で収納率が上がりました。

歳出 37億 2591万円

遊歩道整備について

問 里山整備事業で遊歩道整備をして、維持管理をする体制、自主防災組織はどうなっているか？
答 (参考) 里山環境整備事業は鳥獣害対策協議会において実施しています。避難路として、防災対策として今後検討していきたい。

コミュニティバスについて

問 コミュニティバスの利用と今後については？
答 (企画政策課長) 平成24年度の利用者数は、小学生も含め7704名です。うち住民の方は、624名です。
今年4月から8月までの5か月間で、116名と大幅に減少しています。
今後、関係区長等の意見も聞きながら、路線の見直しも検討して行きます。

防災対策事業費

問 防災対策事業費補助金について、どのような用途に使われているか？
答 (総務財政課長) 一時避難場所、避難路の整備、手摺りの設置や草刈り、整地作業、様々な事業に補助をしています。県の補助金を活用しての事業です。各地域の防災に関する要望を取りまとめています。予算の限りの中で順位を決めて実施しています。



震度5強の体験

特別会計決算

国民健康保険

歳入 9億 3632万円
歳出 9億 2788万円

給付費の不用額は？

問 保険給付費で、約6億3000万円に対して、6000万円と、1ヶ月分くらいの不用額が出ているが、予算の組み方が甘かったのか？ それとも他に何か理由があったのか？
答 (住民福祉課長) 予算を立てる時には、前年度、前々年度の実績を参考にしていますが、その実績にある程度幅をもたして、予算を立てる状況もあり、その分が不用額となりました。

問 委託料で250万円の不用額が出ているが、これはどういう事なのか？ また、レセプト(診療報酬明細書)点検については、健全であると思っていいるのか？
答 (住民福祉課長) 人間ドッグの申し込みは当初145名の申し込みがあったが、受診者は124名となり若干少なくなっております。

問 (保健福祉課長) レセプト点検については、療養費だけで医療については国保連合会で一括してやっていますので、委託費が少なくなりました。

後期高齢者医療

歳入 1億 7543万円
歳出 1億 7416万円

問 収入未済額と保険料は？
答 (住民福祉課長) 収入未済額は、過年度4件、現年度3件です。
後期高齢者医療は75才以上で、ほとんどが年金受給者です。国民年金だけの受給者であれば、年に4000円程度の保険料です。

介護保険

歳入 6億 9441万円
歳出 6億 8416万円

問 介護保険の財政安定化基金の支出について
答 (住民福祉課長) 財政安定化基金は、市町村の介護保険財政の安定化のため、国、県、市町村が1/3ずつ拠出して設置しています。
平成24年度に基金の一部を取崩すことになり、全体で10億円程度取崩しをしました。由良町では401万円の配分がありました。



在宅介護支援センターの委託先は？

問 (住民福祉課長) 由良町の包括支援センターは、高齢者が住みなれた地域で、その人らしい生活を続けられるように様々な支援を行うための総合的な機関です。細かいところの支援については、在宅介護支援センターに任せています。
由良町では、社会福祉協議会、社会福祉法人の博愛会へ在宅介護支援センターとして委託しています。

公共下水道事業

歳入 3億 6307万円
歳出 3億 6243万円

下水道への加入について

問 里、門前区は新築が多い地区であるが、浄化槽を完備している家庭が下水道に加入しない可能性があるのでは？
答 (上下水道課長) 里、門前区は既に公共下水道エリアの中に計画されているので、合併浄化槽の設置補助はありません。
公共下水道の供用開始時には、合併浄化槽を使用している家庭も、原則として加入して頂くこととなります。

漁業集落環境整備事業

歳入 3億 98万円
歳出 3億 781万円

水道事業

収入 2億 4303万円
支出 2億 9941万円

有収水量率は？

問 有収水量率は、平成23年度が85.4%、24年度が87.2%と1.8%上昇しています。担当課の努力はされていますが、更に率を上げるのに、どういった手立てをされていますか？
答 (上下水道課長) 配水管の漏水箇所を見つけ修繕することが、一番だと思いますが、現状の職員数では中々難しい面があります。
町民の方から漏水箇所の連絡を頂いた現場を早急に修繕し、有収水量率の向上に努めています。

一般質問

議員が町行政の問題などを問いただす「一般質問」は4名の議員が質問に立ち、町当局の考えを質しました。以下その内容を要約してお知らせします。(文面はすべて質問者本人の原稿によるものです。)

過疎対策の取り組みと展望は？

町民が満足して頂けるような政策をやっていく



藤田 富三 議員

問 過疎対策として、地域活性化の取り組みと来年度への展望は？

①農業について
②漁業について
③観光事業について
いずれの事業も少子高齢化が進み、後継者不足の厳しい中での取り組みに取組んでいかれるのか？

答 (町長) 一、指摘のとおり、本町の基幹産業である農業・漁業等は高齢化と後継者不足の大変厳しい状況であると認識しております。
平成22年、過疎地域指定を受け、過疎対策の計画は議会議決を得た中で策定し、これに基づいて推進していくのが基本です。過疎対策は過疎化を脱却するという事ではなく、社会性や生産性、地域のコミュニティが薄れていく中で、地域を維持していくための対策を立て、国・県の支援を得て地域再生という形で事業を進めていきます。

①町内の耕作放棄地の再活用については、かなり遅れている現状ではないかと思っております。現在、3%、5%未満と推察しております。
現在、農業委員会において、耕作放棄地について調査中で、耕作放棄地を無くすよう努力することです。
②当町の漁業は、一本釣り、定置網、引網、刺網、採貝、採藻など沿岸漁業中心に営まれています。
蓄養殖業については、事業主体、設置場所や事業費などの問題が生じています。施設を設置して蓄養が出来るなら消費者への安定供給が可能になり、漁業所得の向上と地域活性化が図られると考えています。その事業については、紀州日高漁協と由良町漁協が連携し、漁業活性化のための積極的な取り組みをしていただきたいと思っております。また、貝の養殖などについては、由良町漁協が検討しているようですが、なかなか具現化という形に至っていないのが現状です。

③観光事業については、白崎海洋公園は4月1日、一般財団法人白崎観光プラットフォームと指定管理の協定を締結し、公園の管理、道の駅、タイピング事業やオートキャンプ事業などを実施しています。
月々の来園者数は、ほぼ昨年並に推移をし、今後の集客に期待しています。
「元気ゆら町」は解散し、新たに「由良町教育旅行誘致協議会」が立ち上がり、農業者、漁業者、観光協会、海洋公園の指定管理者等が加入して組織した団体で、観光の活性化のために活動していくとの報告を聞いています。
また、観光協会や旅館などのホームページなどでクイックサービス等のPRをしている状況です。
限られた財源の中で町民の皆様方に満足していただけるような政策をやっていくのが大事ではないかと思っております。

後期高齢者の人間ドックの設置を

町単独では考えていない



川出 純 議員

問 後期高齢者の人間ドックの設置は、半数以上の市町村で実施されています。由良町でも実施すべきではないか？

答 (住民福祉課長) 現在、広域連合で健診事業を実施しており、それを利用していただくということ、町での人間ドックは考えていません。また、来年度からは健診の受診券を直接全員に送付し、今以上に利便性が向上しますので、広域連合の健診事業を推進していきます。

問 肺炎球菌ワクチン予防接種は、後期高齢者にとって大切な予防接種です。町としても予防接種補助を取り組むべきではないか？

答 (住民福祉課長) 予防接種の補助については、町としては考えていません。
ただ後期高齢者医療広域連合の新規事業で来年度から実施する予定です。

海つり公園附近の県道改修を

以前から改良を要望しています。

問 公園近くの県道は、大雨時に冠水するので配水溝などで対策していただきたい。

答 (参事・産業建設課長) 地域の区長、あるいは地元の議員からも以前から要望があがっています。
また、平成26年度以降において、つり公園から神谷までの区間、延長600mについては、2車線で改良を要望しています。

風力発電関係について

今までと姿勢的に変わりません。

問 畑区の風力発電問題で町長が、協定書の立会人になっていきます。具体的に、どう対応を考えているのか？

答 (町長) 健康被害を訴えられている方については、3名の方が保健所へ相談に行ったというふうに聞いています。
町の保健師に相談していることは、いまのところありません。
健康相談については、今の体制で行います。

風力発電の被害

区から町に対して相談などはありません



由良 守生 議員

問 今年7月、日高町と由良町の間の山々に風力発電所建設が計画されていたが、中止撤回することになりました。日高町では、これまで風力発電所の建設に賛成した地区はありません。広川町(広川町風力発電所、町の単独設置1基)では騒音被害を低減するために風車の夜間停止をしています。

風力発電所のある地域の人は、頭痛、めまい、吐き気などの疲労感で苦しんでいます。
由良町の風力発電問題は、インターネットで検索すると多数検出されます。被害者の人々を無視することは倫理への冒瀆です。恥ずべきことです。

風力発電を止めていただきたい。由良町が、行政が、何か出来ることがあるはずですが、知恵を絞って、被害に苦しんでいる人々を助けることを考えて貰いたい。

答 (総務政策課長) 法に則った企業活動です。由良町に風力発電を停止させる権限はありません。
これまでも何度も申し上げていますが、体調不良を訴える町民の方がいるのであれば、今までも同様、当町の保健師はもとより、御坊保健所と連携しながら対応していきます。

答 (町長) 今のところ、区民の方から区長に対して対策案などの提案もありません。また、区から町に対して相談等もありません。今のところ静観をしているのが実情です。



こども園の運営は、臨時職員に過大な負担が？

勤務条件や賃金については、検討したい



玉置 一郎 議員

問 来年4月に開園する「町立こども園」は、より一層の由良町の子育て環境が充実する土壌が整ってきたと感慨深いものがあります。

しかし、正職員13名が6名体制になり、臨時職員の方々へ今まで以上に過大な負担が出てくると考えます。
こども園を運営していくためにも、働き甲斐のある賃金や手当制度の環境整備が検討課題だと思っております。

答 (総務政策課長) 臨時職員の賃金は、平成21年、23年と増額しています。
また、24年度の県の最低賃金は6900円ですが、今年10月1日から7000円を超えることも考慮した中でスライドしていくという考えがあるかと思っております。勤務条件や賃金については、今後検討していきます。

教育委員から、保育所・小学校連携についての意見は？

就学前教育の重要性が指摘されている

問 保育所・小学校連携に、今まで教育委員会の委員の皆さんの意見や話し合われた内容は？ また、教育委員会として、子供達が就学するにあたって、認定子ども園に対して求める具体的な保育内容は？

答 (教育長) 委員の皆さんからは、小学校低学年から子ども達に基礎学力などを確実に定着させていくために、学びの力を育てる就学前教育の重要性を指摘されています。
「先生の話をしっかり聞く」「集団で行動する」「一定時間じっと座っている」「鉛筆を正しく持つ」などの習慣が身についていると小学校就学時、子ども達を指導しやすいのではないかと。
また、お互いの保育内容と教育内容や、子ども達一人一人の発達状況について相互理解するためにも、それぞれの職員同士の交流することも大事ではないかと。その意見が出され、小学校の先生が保育所を訪ね、保育内容を参観し情報交換をする。逆に、保育士が小学校を訪ね、授業参観して卒園した子ども達の様子を観るなど実施しています。

幼児教育から小学校教育への接続、移行をスムーズに行うために、保小連携の取り組みの充実を図っていくところです。
教育委員会として、認定こども園に求める保育・教育内容については、保育所の保育指針を中心に「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の5項目の目標達成するために、どのような保育内容を求めていけば良いのか、今年度12月までに要望をまとめたいと計画しています。

健康相談については、今の体制で行います。

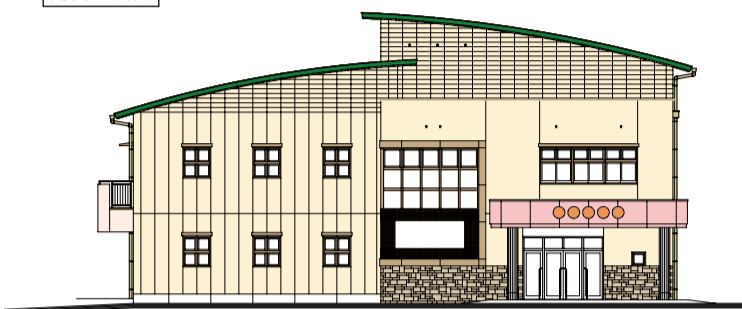
来年4月から開設される 『認定こども園条例』を可決!!

平成25年
9月定例会
9月10日～20日開会

「認定こども園」完成予想図



南面立面図



東面立面図

**目的及び設置等は
次のとおりです。**

小学校就学前の子どもに対する教育及び保育並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を推進するための措置を講ずることにより、地域において子どもが健やかに育成される環境の整備に資することを目的として、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の規定に基づき、「由良町立ゆらこども園」を設置する。

また、定員は200名とし、クラス編成として0歳児を新設し、5歳児クラスまでの編成と保育の実施基準ということで、長時間保育（従来型）と短時間保育（幼稚園）の基準を設けています。

- 新設**
- 0歳児保育
 - 短時間保育
 - 預かり保育
- 土曜日保育の充実
○ 保育料を値下げ
○ 通園バスの運行



町道改良を軸に

平成25年度

一般会計補正予算

1億3300万円追加

(総額45億5140万円)

平成25年9月定例会は、9月10日から20日まで11日間の会期で開きました。
今回の定例会は、報告2件、工事請負契約の締結2件、条例8件、人事1件、補正予算、一般会計を含め6件、決算、一般会計を含め7件、水道事業会計未処分利益剰余金の処分1件、発議1件、審議の結果すべて可決・承認・認定しました。
また、一般質問は、4名の議員が登壇しました。

主な補正予算

- 観光関連 2200万円
- 観光トイレ 1230万円
- 白崎海洋公園等補修工事 100万円
- 観光パンフレット印刷 1060万円
- 防災関連など 1730万円
- 町道整備
- 衣奈三尾川間

0歳児保育実施へ!!

問 0歳児保育の新設ですが、入所要件と定員は?

答 (住民福祉課長) 定員は6名で、基準日(入園し、又は進級する年度の初日の前日)における年齢が満1歳未満の子ども(出生日から起算して6ヵ月以上経過した子ども)に限り、基準日におけるとあるが、年度途中で6ヵ月を過ぎた0歳児の入所は出来るのか?

答 (住民福祉課長) 定員が6名となっております。定員に満たない場合は出来る限り要望にお応えします。

問 通園バスは、運行するのにか?

答 (住民福祉課長) 運行する予定です。バス通園は、3歳児クラス以上と考えています。

衛星携帯電話の活用方法は?

災害時の通信手段を確保します

問 新たに購入される緊急時の衛星携帯電話の活用方法は、どのようになっていますか?

答 (総務政策課長) 災害時において、携帯電話は使用できなくなる可能性があります。電波の届かない所や災害時の現場、インフラ施設等の連絡に衛星携帯電話、又は無線機等も持っていく通信手段を確保していきます。

衣奈三尾川間の道路改良計画は?

鋭意、努力しています

問 現在、町道となっている衣奈三尾川間の道路改良には、用地買収など難しい部分もあるが、工期は何年くらいかかりますか?

答 (参考・産業建設課長) 衣奈三尾川間の町道改良計画では、本年から用地買収の話を進めています。予算として、15〜20億円になると想定しています(橋梁2カ所含む)約10年はかかるかと思えます。

問 用地交渉が、計画の進捗に与える影響が大きいのではないかと?

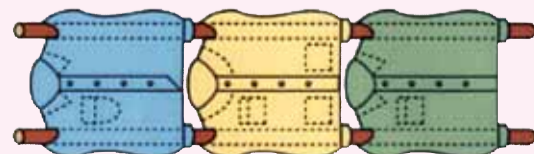
答 (参考・産業建設課長) 町道の改良計画は、全体説明会も終わっています。用地買収が重要であることは十分に認識しています。用地買収を早く終えて、工事をスムーズに着手できるように鋭意努力します。

防災メモ②

「応急担架の作り方」

上着やシャツを使って、2本の長い棒で作ります。

「いざ!!」という時のために、一度、防災訓練時に応急担架を作ってみませんか?



図のように、2本の棒に上着(5着以上)を通します。

人事

◎由良町教育委員会委員任期満了に伴い、
青山さとみ氏
(衣奈310番地)
の選任に同意しました。

編集後記

広報委員会は、10月中旬に編集するので、衣奈祭りや由良祭りの話がよく出ます。

秋祭りの太鼓や笛の練習の音が聞こえて、祭り近しい感じがします。老若男女、かわり方は違っても、町内の祭りを楽しみにしている方が多いと思います。

今後、盛大な祭りが続く事が由良町全体のコミュニティを高めることになりそうです。来年の祭りも楽しみにしましょう。(純)

- 議会広報編集委員会
- 委員長 吉田ひとみ
 - 副委員長 由良 守生
 - 山名 実
 - 中村 森
 - 玉置 一郎
 - 川出 純